

事務連絡  
令和6年11月13日

都道府県  
各指定都市 障害児支援施策担当者 御中  
中核市

こども家庭庁支援局障害児支援課

「多様なニーズに応じた家族支援の実態把握に関する調査研究」  
アンケート調査への周知・ご協力について（ご依頼）

障害児支援施策の推進につきましては、平素より格段のご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

今般、令和6年度子ども・子育て支援等推進調査研究事業にて、株式会社みずほリサーチ&テクノロジーズが「多様なニーズに応じた家族支援の実態把握に関する調査研究」を実施しております。

本調査研究は、家族のウェルビーイング向上を社会全体で支える、家族支援の重要性を鑑み、時代や社会情勢、価値観の変容を受け、多様化する家族のニーズに応じる家族支援の在り方を広く議論するとともに、発達支援を必要とするこどもの家族が必要としている支援ニーズを把握し、家族支援の今後の方向性について検討を行う際の基礎情報となる資料を取りまとめることを目的としております。

令和5年12月22日に閣議決定された「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン（はじめの100か月の育ちビジョン）」においては、

『身近な保護者・養育者が、社会とつながり合い、社会に支えられ、安心と喜びを感じて子育てを行うことがこどものより良い育ちにとって重要である。保護者・養育者が、子育ての様々な状況を社会と安心して共有することができ、社会に十分支えられているからこそ、こどもの誕生、成長の喜びを実感することができ、社会もそれを一緒に喜び合うことができる。』と記載されており、さらに『保護者・養育者の心身の状況や置かれた環境も多様であり、障害のあるこどもを養育している場合や、ひとり親、貧困家庭の場合など、特別な支援を要する子育て環境にある保護者・養育者に対しては、特に配慮する必要がある。だからこそ、保護者・養育者のウェルビーイングと成長の支援・応援についても、こどもの育ちへの切れ目ない伴走によって、保護者・養育者の心身の状況、置かれている環境等に十分に配慮しつつ、ひとしく保障されることが重要である』と記載されております。

また、学童期においては、令和6年7月に改訂した放課後等デイサービスガイドラインにおいて、『こどもは、保護者や家庭生活から大きな影響を受けることから、こどもの成長や発達の基盤となる親子関係や家庭生活を安定・充実させることが、こどもの「育ち」や「暮らし」の安定・充実』につながり、さらに『学齢期は、こどもが行動上の課題やメンタルヘルスの課題、不登校など様々な課題を抱える年代にあることや、学齢期になってから障害特性が明確化する場合も多いことなども踏まえ、家族が様々な葛藤に直面する時期である。そ

のため、こどもと家族をトータルに支援していくことが重要』と記載されています。

これらのことを踏まえ、この度すべての市町村及び障害児支援に関わる事業所に対して、家族支援に関するアンケート調査を実施することとなりました。アンケート調査につきましては、できるだけ多くのご回答をいただくことで実態の把握とよりよい事例の収集につながると考えております。

つきましては、業務多忙な折、誠に恐縮ではございますが、本事業の趣旨をご理解いただき、都道府県、指定都市、中核市におかれましては、別添の資料をご確認いただき、管内市町村へ市町村ご担当者向けアンケートを、管内に所在する事業所に対して事業所向けアンケートをご案内くださいますようお願い申し上げます。

## 記

- (別添1) 多様なニーズに応じた家族支援の実態把握に関する調査研究  
アンケート調査ご協力のご依頼について（自治体向け）
- (別添2) 多様なニーズに応じた家族支援の実態把握に関する調査研究  
アンケート調査ご協力のご依頼について（事業所向け）

なお、調査票に関するご質問は下記事務局に直接問い合わせくださいますようお願いいたします。

### 【調査事務局(実施主体)】

みずほりサーチ&テクノロジー株式会社

社会政策コンサルティング部

〒101-8443 東京都千代田区神田錦町 2-3 竹橋スクエアビル

電話:0120-001-029 (受付:平日 10~12、13~17時)

電子メールアドレス:[kazokushien2024@cz-wee.com](mailto:kazokushien2024@cz-wee.com)